

環境保全推進

地球温暖化防止

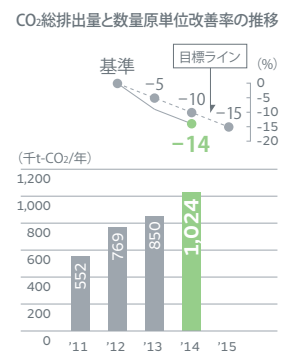
みんなで協力し、エアー漏れ点検で温暖化防止

ムラタの生産設備は、コンプレッサで圧縮したエアーを使用しています。生産設備のエアー漏れはコンプレッサの電力を浪費し、結果的に温暖化の原因となります。

小松村田製作所では2012年度より省エネパトロールの一環で、全工程設備のエアー漏れ点検をおこなっています。エアー漏れ点検は、工程が休止している休日に施設保全員がリークテスターを使い生産設備のホースつなぎ目からエアー漏れが無いか確認し、発見したエアー漏れについて製造部門や生産技術部門が修理するという地道な活動です。この取組みは関係部門間で密接な連携が必要であり、図面や写真を用いた見える化などの工夫も取入れることにより、関係部門が積極的に協力して今日まで続けることが出来ました。その結果、活動が評価され2014年にムラタグループの温暖化防止特別委員会表彰を受賞でき、地道な活動が評価されたと大変喜んでいきます。今後もさらに活動を継続させ、エアー漏れ撲滅に向け取り組んでいきます。

ムラタでは、事業活動で排出される温室効果ガスの総量削減に向けて温暖化防止方針を掲げています。目標達成のため、温暖化防止特別委員会を中心にムラタグループ全体で活動を行っています。

写真左より
株式会社小松村田製作所 サービス課
天田 守
山口 剛



多面的な効果を見出す、継続的な廃棄物削減への取組み

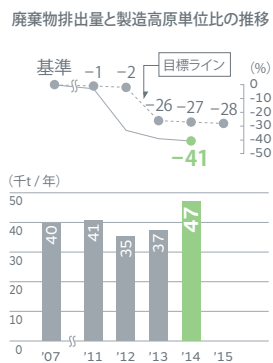
岡山村田製作所では、製造部門と環境部門が協力して取り組むことにより、大量に発生していた廃棄物を90%削減することが出来ました。この活動は、単に廃棄物を削減出来ただけでなく、処理コストの大きな削減成果を生むことで事業活動に貢献し、そのことが次の活動に向けた意欲の源泉となりました。

廃棄物削減の取組みは、ムラタの環境負荷低減活動の歩みと共にあり、20年以上続いています。

成熟期を迎え、削減活動の難易度は高まっていますが、単なる廃棄物削減だけでなく、様々な角度から効果を見出すことによって、新たな推進力を生み出し、今後も緩まない活動を継続していきます。

ムラタでは、2003年度にゼロエミッション※を国内グループで達成しました。現在は、海外でのゼロエミッションと、廃棄物発生量そのものの削減に取り組んでいます。より安定確実に廃棄物を処理するため、廃棄物管理体制の強化をめざします。

写真左より
株式会社岡山村田製作所 管理部 事務課
奥山 淳一
株式会社岡山村田製作所
第2製造部 生産技術一課
金堂 光太



※ゼロエミッションとは、直接及び中間処理も含めた埋立廃棄物をゼロにし、リサイクル率100%にすること、ムラタでは定義しています。(浄化槽余剰汚泥など自らの取組みだけでは対応できない廃棄物は除外しています。)

廃棄物削減

生物多様性

地域の植物、生き物との共存。 親しまれる工場であり続けるために。

金沢村田製作所では、事業活動に伴う生態系への影響を配慮して、地域にゆかりのある樹木や花を育てて生物多様性の保全活動に取り組んでいます。事業所内には、カブトムシが自然繁殖する緑地や、カルガモ、白サギなどが立ち寄る池があり、様々な生き物を見ることが出来ます。更に、地元白山に生息する蝶の散歩道をイメージした「バタフライガーデン」は、お客様や従業員の癒しの場になっています。また、地元の小学校を対象に、環境と科学をテーマにした出前授業をおこなっています。今後も生物多様性に配慮した事業活動と、地域貢献活動を通じて、より地域のみなさまに親しまれる工場をめざしていきます。

「そこにムラタがあることがその地域の誇りでいたい」
地域、社会に密着した事業経営を実現するため、小中学生向け環境学習の実施やムラタの森と題した里山保全活動、事業所緑化活動などを継続的に実施しています。

写真左より
株式会社金沢村田製作所 管理部 環境課
瀬戸 佑佳
佐藤 憲章

物流倉庫集約による国内物流の効率化

ムラタでは、2013年度から段階的に国内物流網をよりシンプルな流れになるよう見直してきました。主なポイントは物流倉庫の集約です。ムラタの製品をお客様に出荷するための物流倉庫は、地域別に複数箇所に分かれていましたが、それらを1カ所にまとめました。その結果、各生産工場から出荷する送り先を集約することが出来、地域別の仕分けやトラックの積み替えを行うことが不要となりました。

また、物流倉庫が1カ所になったことで、複数方面に分かれていたトラックの運行ルートを集約することができ、積載効率の向上にもつながりました。この取組みの結果、国内物流におけるCO₂の排出量を実質生産高原単位で2013年度比27%削減することが出来ました。

製造段階だけでなく、製品を輸送する物流段階においても環境負荷削減に取り組んでいます。輸送の効率化でCO₂を削減するとともに、包装材を削減して廃棄物を減らしています。

株式会社村田製作所 生産システム部 物流システム2課
本多 浩二

物流CO₂削減 (国内物流効率化)